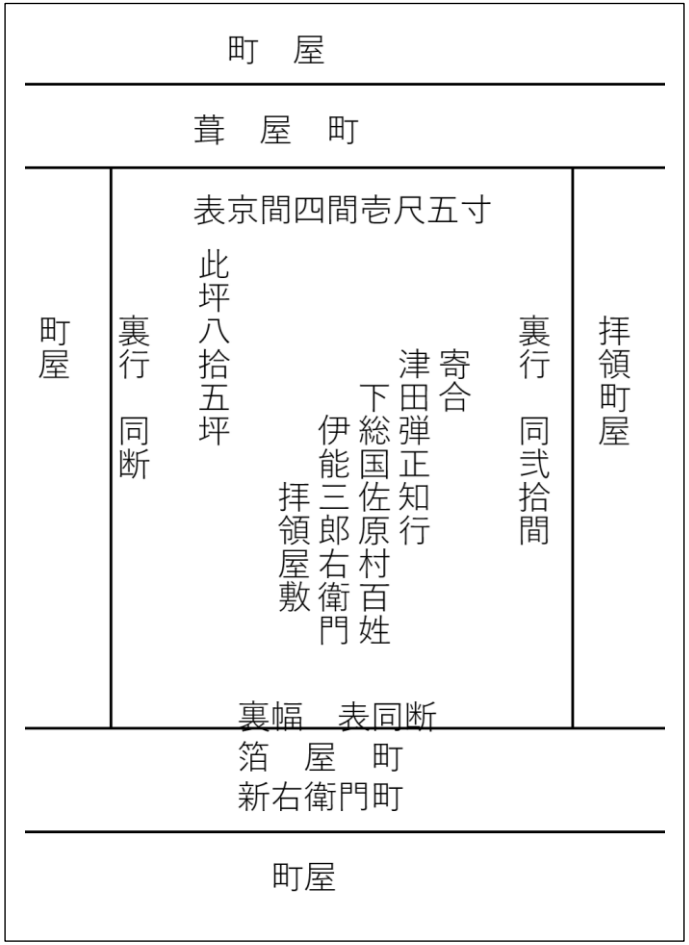
伊能忠敬関連文書　二題

史料Ａ　第一次測量日記（初日）

寛政十二庚申年閏四月、蒙
台命、蝦夷地に下向しける道中の記
閏四月十九日朝五っ前、深川出立、上下六人、伊能勘解由・門倉雄太・
坪山宗平・伊能秀蔵・下人佐原吉助・新に召かかえ候長助なり。此日朝より
小雨昼後に止、深川八幡崇参詣、それより両国通り浅草司天台へ立寄
高橋先生にて御酒を給、荷物は深川より直に千住宿へ積送、此日千住宿
送別の人は、佐原地頭所より被仰付候渡辺清蔵殿・伊能三郎右衛門・同七左衛門・
同繁蔵・小網町伊勢屋菊三郎・支配人飩屋庄兵衛・堺屋源八・神田時計師
弥五郎・弥三郎・天満屋冨右衛門・佐原柏屋幸右衛門、柏木幸七・
同時右衛門、千住宿にて不残中食、酒肴を以宴別、千住より草加宿へ
二里八町、草加より越谷へ一里二十八丁、越谷と並ぶ番駅の大沢宿に七ッ頃
着して、中嶋屋善太郎と云家に止宿

史料Ｂ　拝領屋敷請取届

箔屋町御預地の内、此度拙者拝領被仰付候に付、
今日各方御出、間数・坪数御改被成、御渡右御絵図面
傍示杭の通無相違請取申候、為後日依如件
（一八二二）
文政四巳年九月廿二日　　寄合
津田弾正知行
下総國佐原村百姓
請取人　伊能三郎右衛門
高橋作左衛門手附下役
立合　下河邊政五郎

仁杉五郎八　殿
尾崎吉太郎　殿
町年寄衆中
樽屋三右衛門殿